

令和6年度 常陸大宮市原子力災害広域避難訓練

# アンケート集計結果

(参加住民アンケート)

# I 全般

## 1 本資料について

本アンケート調査は、訓練実施に先立ち作成した「評価・検証計画」に基づき、訓練成果を整理、分析して課題等を抽出し、改善策をとりまとめ、「常陸大宮市原子力災害広域避難計画」の実効性の向上を図ることを目的として実施しました。

本資料は令和6年12月1日（日）に実施された「令和6年度常陸大宮市原子力災害広域避難訓練」の参加者（住民）を対象に実施したアンケート調査結果をまとめたものです。

## 2 アンケート実施方法

訓練参加者（住民）を対象とした本アンケートは、訓練終了時（御前山地域センター（別館））に配布し、その場で記入、回収しています。本アンケート調査では、訓練参加住民58名中、55名から回答を得ました。

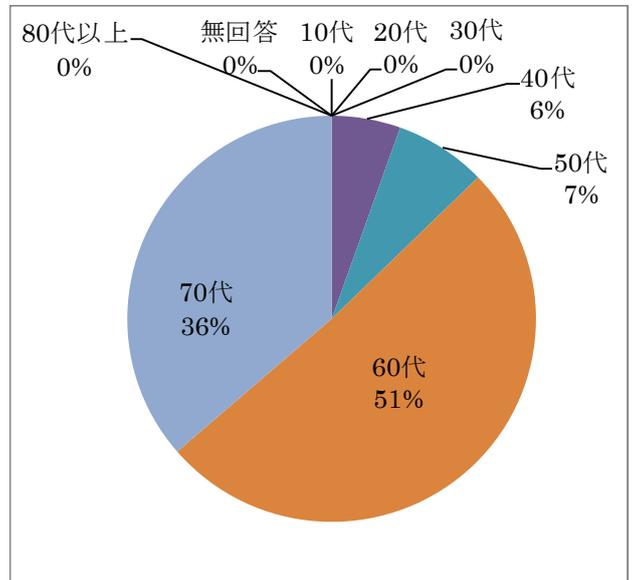
# II アンケート集計結果

## 1 あなたの年齢を教えてください。

項目	回答数	回答率（回答数/総数）
10代	0	0.0%
20代	0	0.0%
30代	0	0.0%
40代	3	5.5%
50代	4	7.3%
60代	28	50.9%
70代	20	36.4%
80代以上	0	0.0%
無回答	0	0.0%

総数

55



## 3 今回の訓練では、どのような成果があったと思いますか？（複数回答可）

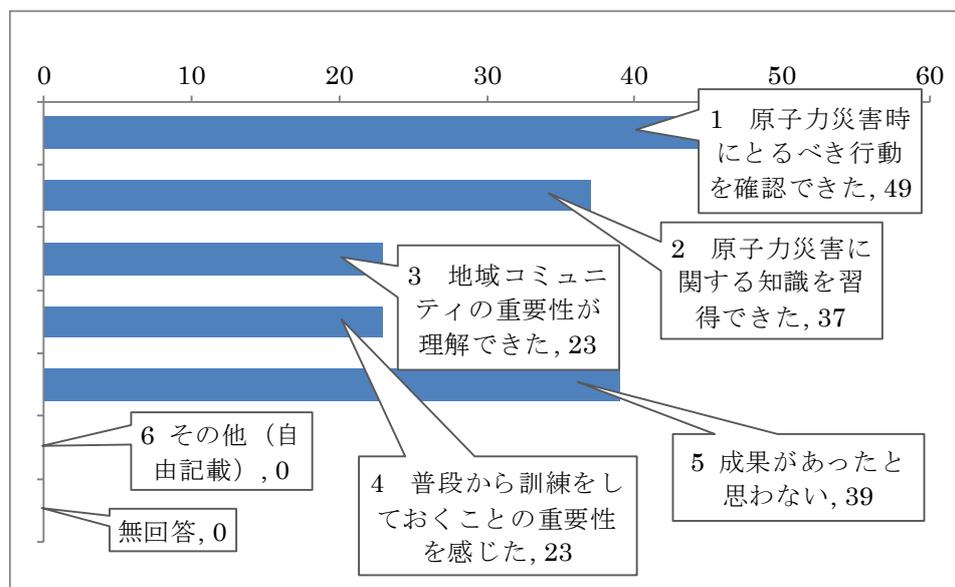
「原子力災害時にとるべき行動を確認できた」が最も多く約29%の49名（／延べ171名）でした。次いで「原子力災害に関する知識を習得できた」で約22%の37名（／延べ171名）でした。一方、「成果があったと思わない」と回答した方は約23%の39名（／延べ171名）でした。

自由意見では、「市としての原子力災害の避難訓練を行う事は、とても有意義であり、参加して安心感も得る事ができた。」などの肯定的意見が多く見られました。

項目	回答数
1 原子力災害時にとるべき行動を確認できた	49
2 原子力災害に関する知識を習得できた	37
3 地域コミュニティの重要性が理解できた	23
4 普段から訓練をしておくことの重要性を感じた	23
5 成果があったと思わない	39
6 その他（自由記載）	0
無回答	0

総数

171



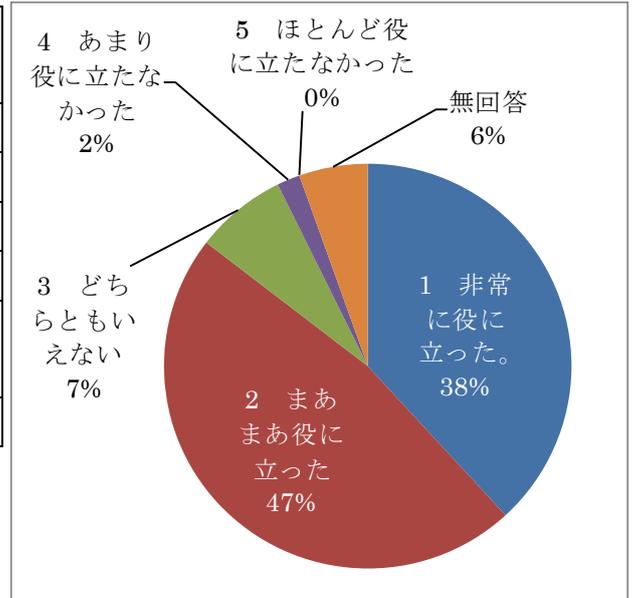
### 【その他（自由記載）】

- ・ 訓練は大切と思います。いざとなったらこの訓練でしたことが役に立つと思います。（下岩瀬）
- ・ 風の向きで（根本）
- ・ 被ばく検査に時間がかかり過ぎる。本番では大交通渋滞が起きると心配です。（泉）
- ・ お世話になります。市としての原子力災害の避難訓練を行う事は、とても有意義であり、参加して安心感も得る事ができた。（泉）
- ・ 訓練とはいえ、地域が守られているなと思います。安心しました。（下岩瀬）
- ・ 時間経過ごとの行動を確認できた。とりあえず24hは屋内にいること。（富士見台）

#### 4-1 屋内退避実習は役に立ちましたか？

訓練参加者全体の85%を超える方が、「非常に役に立った」及び「まあまあ役に立った」と回答しています。自由意見では、「雨戸はどうすべきか迷った」とか「ペットの避難は？」など、屋内退避や広域避難への疑問などの意見が見られました。

項目	回答数	回答率（回答数/総数）
1 非常に役に立った	21	38.2%
2 まあまあ役に立った	26	47.3%
3 どちらともいえない	4	7.3%
4 あまり役に立たなかった	1	1.8%
5 ほとんど役に立たなかった	0	0.0%
無回答	3	5.5%
総数	55	



### 【その他（自由記載）】

- ・雨戸はどうすべきか迷いました。細かに行動すべき情報がもっとほしい。（下岩瀬）
- ・ペットの避難は？（泉）
- ・窓の締切りを養生テープで貼ったが、サランラップ等でも良いのか。（サランラップはいつでもある）（泉）
- ・退避続ける時間によっては食料の心配もしなければ。（泉）
- ・準備をするのに誰もがわかる物品を地域でしっかり広めたら良いと思いました。（下岩瀬）

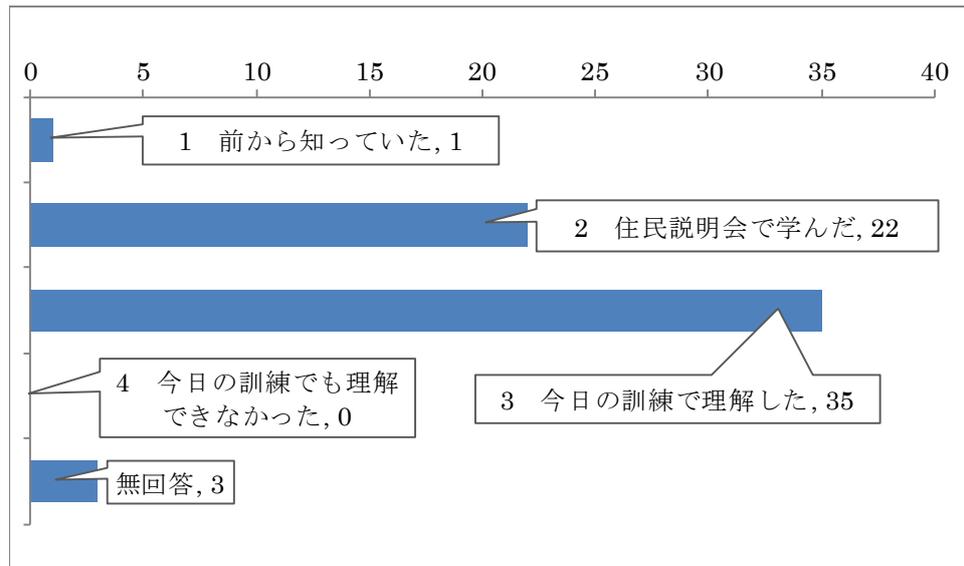
### 5-1 原子力災害における避難の流れは事前に知っていましたか？（屋内退避、スクリーニング、避難の仕方 など）

「今日の訓練で理解した」と答えた方が最も多く約57%の35名（／延べ61名）でした。次いで、「住民説明会で学んだ」と回答した方が同じく約36%の22名（／延べ61名）でした。合せて、約93%の57名（／延べ61名）でした。一方、「前から知っていた」と回答した方は1名であることから、「住民説明会」を含め、今回実施した原子力災害広域避難訓練の実施成果があったものと考えます。

項目	回答数
1 前から知っていた	1
2 住民説明会で学んだ	22
3 今日の訓練で理解した	35
4 今日の訓練でも理解できなかった	0
無回答	3

総数

61



### 5-2 自分の「一時集合所」及び「避難先市町村」は事前に知っていましたか？

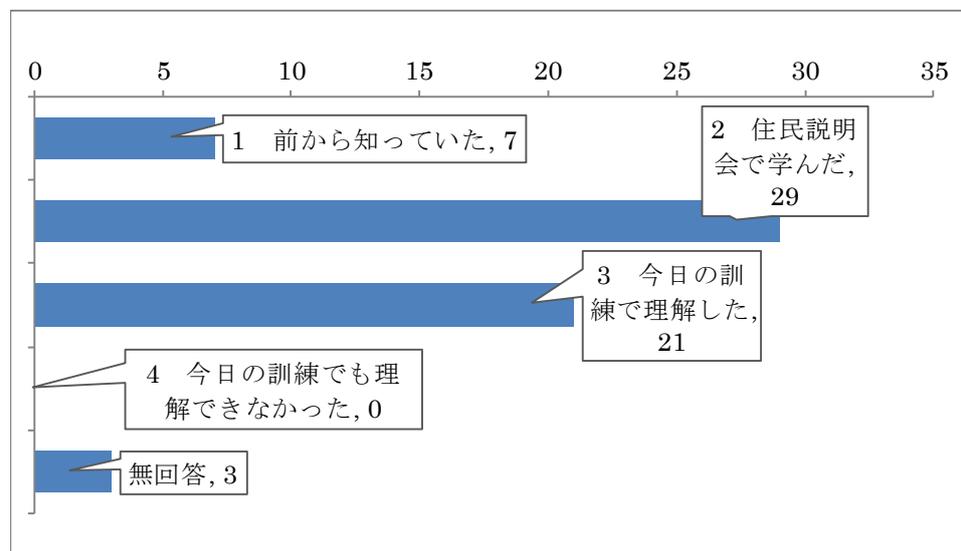
「住民説明会で学んだ」と答えた方が最も多く約48%の29名（／延べ60名）でした。次いで、「今日の訓練で理解した」と回答した方が同じく35%の21名（／延べ60名）でした。合せて、約83%の50名（／延べ60名）でした。全般として、「住民説明会」を含め、今回実施した原子力災害広域避難訓練の実施成果があったものと考えます。

一方、「前から知っていた」と回答した方は7名であり、ご自身の「一時集合所」や「避難先市町村」への関心の高さを伺えます。

項目	回答数
1 前から知っていた	7
2 住民説明会で学んだ	29
3 今日の訓練で理解した	21
4 今日の訓練でも理解できなかった	0
無回答	3

総数

60

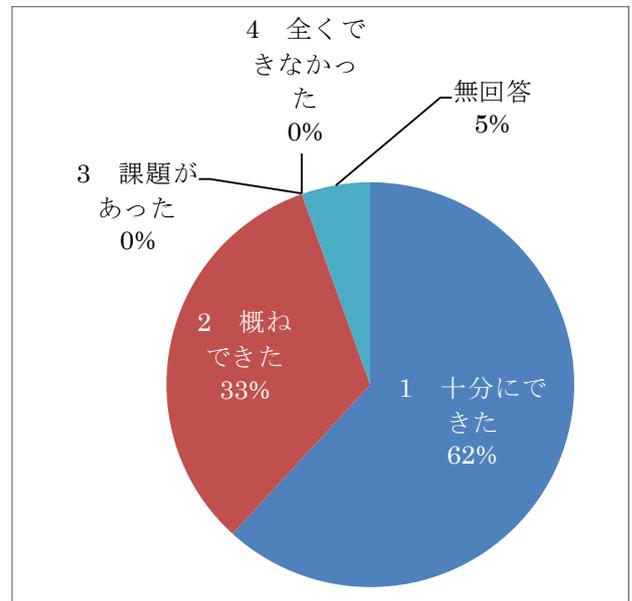


### 5-3 一時集合所までの避難はスムーズにできましたか？

「十分にできた」と「概ねできた」と回答された方が全体の95%を超えており、本訓練実施の成果があったものといえます。

一方、自由意見では、防災無線に関する平素からの確認への意見も見られました。

項目	回答数	回答率（回答数/総数）
1 十分にできた	34	61.8%
2 概ねできた	18	32.7%
3 課題があった	0	0.0%
4 全くできなかった	0	0.0%
無回答	3	5.5%
総数	55	



#### 【その他（自由記載）】

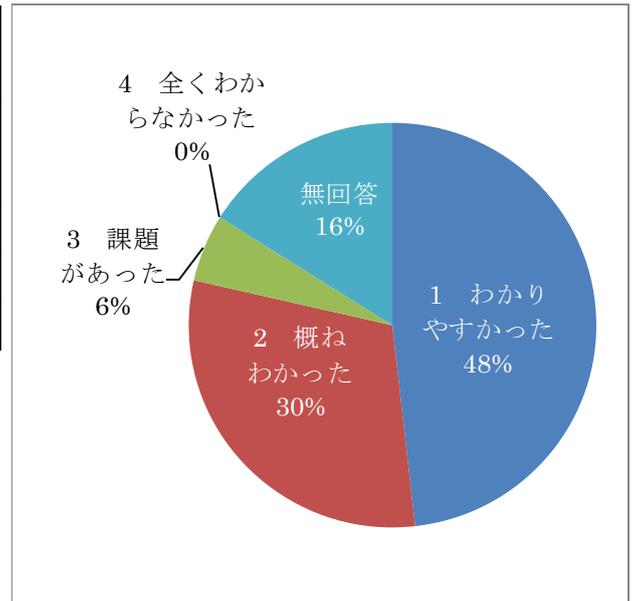
- ・防災無線の音が聞こえづらかった。（室内の防災無線機の電源を入れていなかった。故障しているものも多いのでは？確認が必要。）（宇留野台）
- ・放射線は水やホコリではない。払って落ちるものではないのに防護服やマスクで防げると勘違いします。（坏）
- ・スタッフが丁寧でやさしかった。あわてないで行動できた。（下岩瀬）

### 5-4 一時集合所での誘導はわかりやすかったですか？

「わかりやすかった」や「概ねわかった」が全体の79%近くでした。また、回答された方（「無回答」の9名を除く）に絞ってみますと、同じく44名/47名の約94%の方が「わかりやすかった」や「概ねわかった」と回答しています。更に、「全くわからなかった」と回答した方が皆無であることから、一時集合所における案内・受付から安定ヨウ素剤配布・説明等の誘導は良くできていたものと考えます。

一方、「課題があった」と回答した方が3名（/延べ56名）いました。自由意見として、工夫、改善を求める意見も見られ、今後も更に改善等を図り、訓練を継続して確認を繰り返すということが求められるものと考えます。

項目	回答数	回答率（回答数/総数）
1 わかりやすかった	27	48.2%
2 概ねわかった	17	30.4%
3 課題があった	3	5.4%
4 全くわからなかった	0	0.0%
無回答	9	16.1%
総数	56	



【その他（自由記載）】

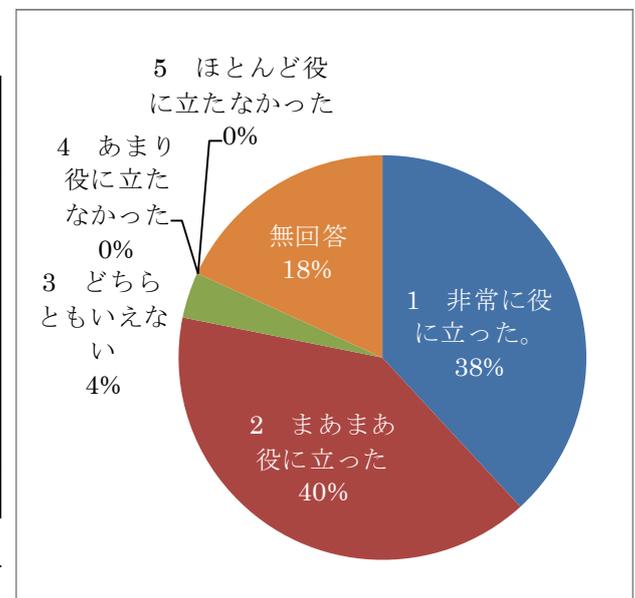
- ・受付の人数を増やした方がいいと思う。（下岩瀬）
- ・係がはっきりしていて分かりやすかった。（泉）
- ・受付が時間がかかったように思う。もっと工夫をお願いしたい。（泉）
- ・受付所が3ヶ所あり、その順番が分かりづらかった。避難人数が多くなると混雑してしまうのでは。順番を明確に表示した方が良いのでは。（上岩瀬）
- ・小学校内での各係（住民）の動線は検討の余地があると思いました。（富士見台）

5-5 避難退域時検査場所（御前山地域センター）での行動は役に立ちましたか？

「非常に役に立った」と「まあまあ役に立った」と全体の78%を超えていました。また、回答された方（「無回答」の10名を除く）に絞ってみますと、同じく43名/45名の約96%の方が「非常に役に立った」と「まあまあ役に立った」と回答しています。更に、「あまり役に立たなかった」と「ほとんど役に立たなかった」と回答した方は皆無であることから、御前山地域センター（駐車場）における避難退域時検査等の一連の行動は原子力防災に大きく寄与したものと考えます。

自由意見として、実体験できたことや県・市の取り組みへの安心など、肯定的意見が見られました。

項目	回答数	回答率（回答数/総数）
1 非常に役に立った	21	38.2%
2 まあまあ役に立った	22	40.0%
3 どちらともいえない	2	3.6%
4 あまり役に立たなかった	0	0.0%
5 ほとんど役に立たなかった	0	0.0%
無回答	10	18.2%
総数	55	



### 【その他（自由記載）】

- ・ 除染の仕方や検査等実体験して役だったと思う。（泉）
- ・ スタッフの多さに驚いた。県や市の取り組みに安心できた。（下岩瀬）
- ・ 除染の方法が気になりました。水洗いの場合、どこで、どのように洗い、汚水はどうするのか。（富士見台）

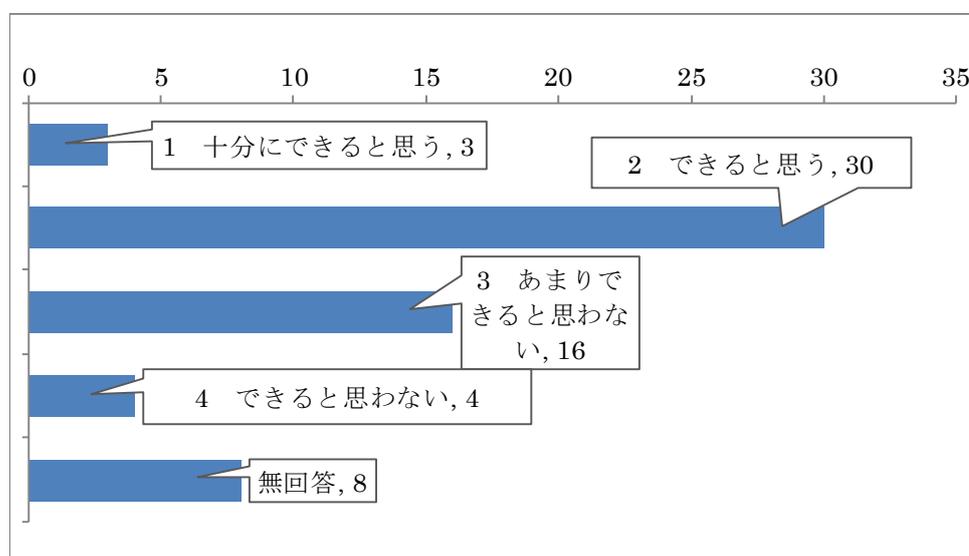
### 5-6 今回の訓練成果から、実際の原子力災害時に迅速に避難できると思いますか？

「十分にできると思う」と「できると思う」と回答した方が約54%（33名／延べ61名）でした。また、回答された方（「無回答」の8名を除く）に絞ってみますと、同じく33名／53名の約62%の方が「十分にできると思う」と「できると思う」と回答しています。

一方、「あまりできると思わない」と「できると思わない」と回答した方は約33%（20名／延べ61名）でした。また、回答された方（「無回答」の8名を除く）に絞ってみますと、同じく20名／53名の約38%の方が「あまりできると思わない」と「できると思わない」と回答しています。

今回の訓練成果として、実際の原子力災害時には「できる」が凡そ6割、「できない」が凡そ4割という結果から、今回の様な実動訓練の継続が必要であるものと考えます。

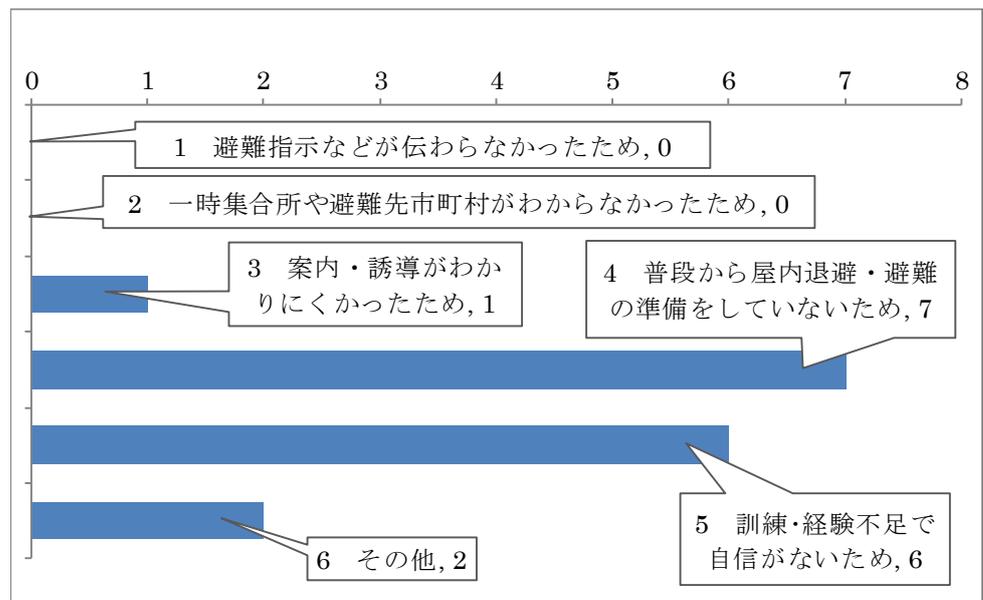
項目	回答数
1 十分にできると思う	3
2 できると思う	30
3 あまりできると思わない	16
4 できると思わない	4
無回答	8
総数	61



【あまりできると思わない】（16名／延べ61名）

最も多かったのは、7名から回答があった「普段から屋内退避・避難の準備をしていないため」であり、次いで6名の「訓練・経験不足で自信がないため」でした。以上から、訓練等の継続実施が求められているのが理解できます。自由意見として、実際の避難時の行動等への不安などの意見が見られました。

項目	回答数
1 避難指示などが伝わらなかったため	0
2 一時集合所や避難先市町村がわからなかったため	0
3 案内・誘導がわかりにくかったため	1
4 普段から屋内退避・避難の準備をしていないため	7
5 訓練・経験不足で自信がないため	6
6 その他	2
総数	16



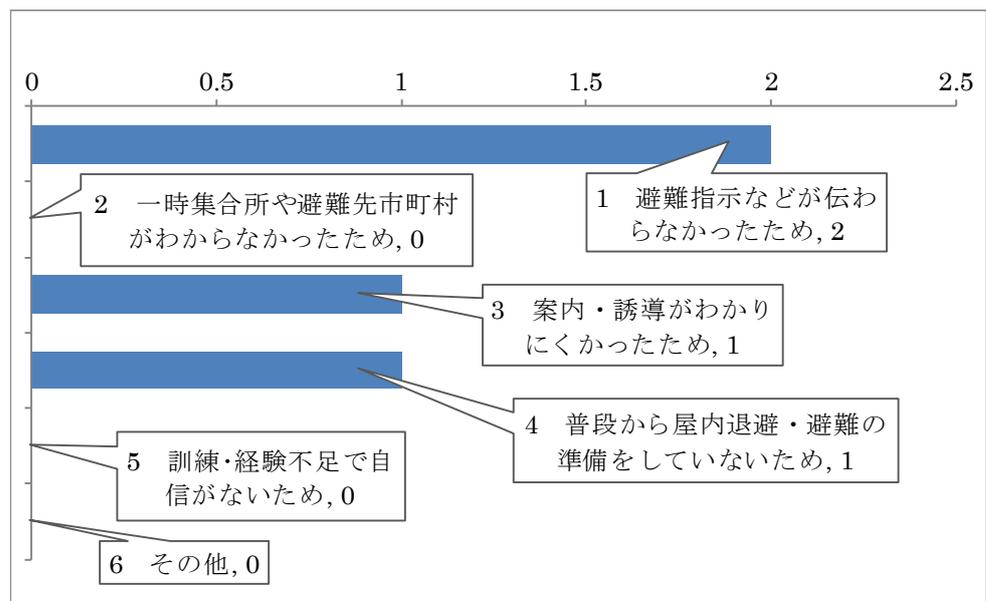
【その他（自由記載）】

- ・実際の行動となるとむずかしいのではないかと（下岩瀬）
- ・実際の避難は全住民であり、今日の10倍以上の人数になると思われる。その数に対応できるのか、難しいところと思う。（上岩瀬）
- ・大人数に対応できるのか？パニックになると思う。（泉）
- ・交通状況が不安である。（宇留野坪）
- ・行政の訓練・経験不足（富士見台）

## 【できると思わない】（4名／延べ61名）

最も多かったのは、2名から回答があった「避難指示などが伝わらなかったため」であり、次いで各1名の「案内・誘導がわかりにくかったため」と「普段から屋内退避・避難の準備をしていないため」でした。

項目	回答数
1 避難指示などが伝わらなかったため	2
2 一時集合所や避難先市町村がわからなかったため	0
3 案内・誘導がわかりにくかったため	1
4 普段から屋内退避・避難の準備をしていないため	1
5 訓練・経験不足で自信がないため	0
6 その他	0
総数	4



### 6-1 本訓練を通じ、今後解決すべき課題として一番重要と考えるものを挙げてください。

解決すべき課題として、最も多かったのは「情報伝達」であり約47%（33名／延べ70名）でした。次いで多かったのは、「住民避難」と「地域住民の連携」であり、ともに約16%（11名／延べ70名）でした。また、「避難行動要支援者等支援」が続いて約13%（9名／延べ70名）でした。

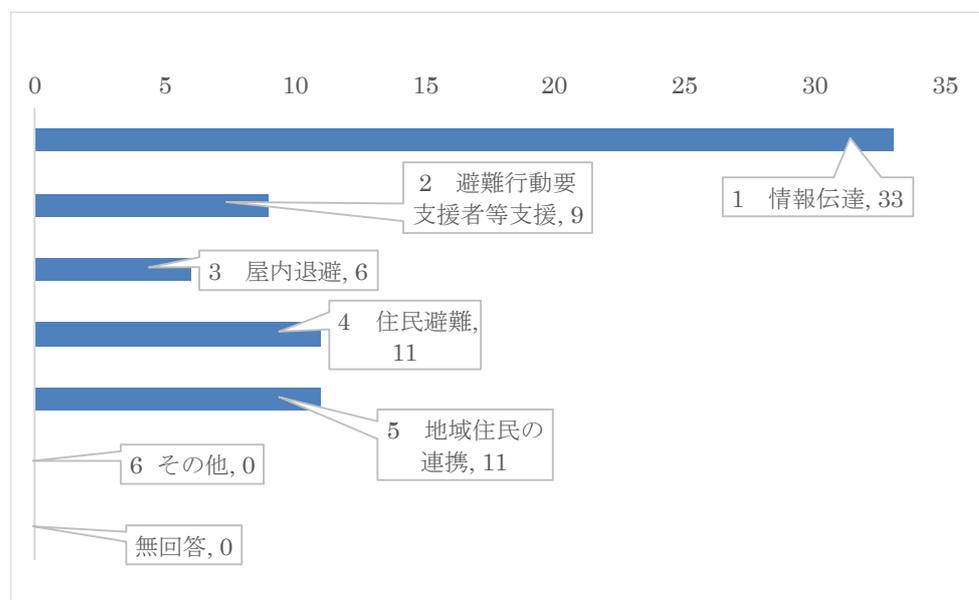
一方、「屋内退避」は約9%（6名／延べ70名）であり、本訓練における「屋内退避」訓練の成果があったものと考えます。

また、自由意見として、「情報の伝達の仕方」、「放射線汚染の人体に与える影響等の正しい理解を広めるべき」や「一番どこをしっかりと聞くのか。（市の放送）か」など原子力防災に関する正しい知識、流れなどに関する理解の拡充を求める意見が

見られました。

「情報伝達」はじめ、「住民避難」、「地域住民の連携」及び「避難行動要支援者等支援」等は、本訓練の様な実動訓練のほか、ワークショップなどにおいても課題解決に寄与できるものと考えます。

項目	回答数
1 情報伝達	33
2 避難行動要支援者等支援	9
3 屋内退避	6
4 住民避難	11
5 地域住民の連携	11
6 その他	0
無回答	0
総数	70



#### 【その他（自由記載）】

- ・小学校の体育館にスロープがない。（下岩瀬）
- ・各自車で避難もあるので、実際には大混乱が起きるのではないかな？
- ・実際には、避難時に時間差が生じるので、パニックが起きるかもしれない？（泉）
- ・情報の伝達の仕方、防災無線の有無など（泉）
- ・原子力事故の際の放射線汚染の人体に与える影響等の正しい理解を広めるべき。（放射線と聞くだけで過剰反応、パニックが心配）（宇留野台）
- ・実際の避難人数は多い。それをさばく対応者の確保。対応者も避難者（宇留野坪）
- ・一番どこをしっかりと聞くのか。（市の放送）か。（下岩瀬）

- ・他行政機関との連携事項の確認、行動の確認が必要だと思います。（富士見台）

#### 6-2 今後再び本訓練に参加する機会があった場合、どのような訓練内容があればいいと考えますか。（例：ペット同行の避難訓練 など）

- ・参加人員を多くして実際に行動が可能か確認する事が重要だと思います。（下岩瀬）
- ・子供たちの参加や足の不自由な人の参加も考慮してほしい。（下岩瀬）
- ・避難についての啓発活動（上岩瀬）
- ・看護老人の避難（泉）
- ・要支援者も参加できるような訓練内容（上岩瀬）
- ・ペット同行（泉）
- ・訓練規模の拡大  
参加者範囲の拡大（宇留野坏）
- ・要支援者等を加えた訓練（坏）
- ・ペット、病気の方の同行避難が必要（下宇留野坏）
- ・自家用車で避難する訓練（泉）
- ・今回が初めての訓練で参加者が限られているので、多数の方が参加出来る様、回数を重ねて実施されることを望む。（上岩瀬）
- ・ペット同行の訓練（富士見台）

#### 6-3 本訓練を通じ、今後解決すべき課題として一番重要と考えるものを挙げてください。

- ・受付等がもっとスムーズにできるといいと思う。（下岩瀬）
- ・資料によりわかりました。（放射線の屋内退避の基準値はいくつですか？）  
（下岩瀬）
- ・実際の災害になった場合の混乱が心配される。（上岩瀬）
- ・基本的な行動を再確認するため1年～2年に1回程度、同様の訓練をすると良い。参加者を代えて実施することも必要。（上岩瀬）
- ・よくできたと思う。（泉）
- ・目に見えない原子力災害の訓練は毎年行う必要があると思う。次回の実施の場合は今回参加者以外の区民が参加した方がより広報にもなると思う。  
（泉）
- ・避難の流れを知る事が出来良かった。（泉）
- ・イメージと実際の説明・行動・確認には差があると感じる。実施訓練でより多くの方が体験しておく必要があり、と思われる。（泉）
- ・小学校からバスで移動時、南（災害方面）へ向かうのはおかしいでしょう。  
（泉）
- ・防災無線放送に緊急性が感じられない。切迫感がない。のんびりしている。  
（泉）

- ・訓練に参加してよかった。実際の原子力災害時に一時集合所、避難先がわからないことが多いので避難指示を案内・誘導をお願いします。（泉）
- ・今回は、自宅の放送が聞こえましたが、自宅外は内容聞こえません。（宇留野台）
- ・貴重な体験であった。（宇留野坏）
- ・大変有意義で、良かったです。（坏）
- ・事前準備の充実が必要及び情報の伝達徹底（宇留野坏）
- ・ひたまるアプリを避難訓練に情報伝達だけでなく、本人確認等何か活用できないでしょうか。（泉）
- ・放射線量測定器の設置検討要す。（ポイントを決めて数ヶ所）（宇留野坏）
- ・交通渋滞やパニック、犯罪などへの対処は？（泉）
- ・良かった。（宇留野）
- ・きんちょー感が伝わりました。（坏）
- ・原子力防災について理解出来た。（上岩瀬）
- ・原子力災害について、再度身近に感じるようになった。改めて避難について考える必要性があると思った。（根本）
- ・小学校の体育館のスロープの設置を要望。  
関係各所の方々、ありがとうございました。（富士見台）